56

株式会社 大陽工業所

入力作業の簡略化と データ管理で生産効率を向上

新たに導入した品質管理システム

大陽工業所の本社工場

炊飯ジャーの製造ライン

事業内容 自社工場の製造ラインで人材育成

「大陽工業所」は、国内家電大手のタイガー魔法瓶（株）の炊飯ジャーやカセットコンロなどの組立製造を手がける協力工場。昭和47年の創業で、魔法瓶の真空めっき加工から始まり、昭和60年から炊飯ジャーの生産を開始している。国内向けの炊飯ジャーからアジア、米国、欧州向けの輸出モデルまでの幅広い機種の組立を担っている。

また、人材育成にも注力しており、自社の工場で育成したスタッフの外部への派遣サービスを第二の事業軸として展開。大阪府門真市や同守口市などの製造業を中心に、即戦力の人材を送り込んでいる。また、外国人技能実習生の受け入れにも積極的で、セミナーハウスを開設して育成するなど、周辺地域のものづくり産業に優秀な人材を提供することで貢献している。大田隆弘代表取締役社長は「新しいシステムの導入には若い人の力やアイデアが欠かせない。会社の成長のためにも次の世代への投資を重視している」とし、若い従業員の積極的な登用を進めている。

補助事業 タブレット端末利用でチェック項目をデータ入力

炊飯ジャーの組立工程では、ヒーターやセンサー、断熱材の取り付け、出荷検査など作業は多岐にわたる。品番ごとにチェックする項目も異なるため、品質管理には多大な労力を割いていた。大田社長によると「1品番に数百のチェック項目がある」という。業務の効率化に向けた方法を模索し、品質管理システムのIT化を決定。タブレット端末を用いたシステム「チェックシートシステム」を導入し、業務の効率化につなげた。

従来では紙にチェック項目を手作業で記入していたが、タブレット端末に直接入力するスタイルを採用。入力したデータをサーバー上で管理し、社内のコンピューターやタブレット端末で情報を共有し管理できる。工程チェック表や出荷検査記録、部材の管理や生産した日付のロット印など、一貫した作業工程を正確に管理できるようになった。幅広い年齢層の従業員に抵抗なく使ってもらえるように入力項目をシンプルに設定し、製造現場で大きく役立っている。

具体的成果 書類保管スペースや固定費を大幅に削減

品質管理システムをIT化したことで、組立から出荷までのリードタイムを短縮。ペーパーレス化も実現した。記録作業に割いていた人件費や紙代などの経費を、年間で400万円程度削減できているという。入力した品質データは顧客であるタイガー魔法瓶（株）とも共有でき、必要に応じて記録情報を迅速に提示できる。大田社長は「記録作業をデータ化し管理することで、予想以上に多くのメリットがあった」と笑顔を見せる。記録にかかる時間とミスの削減や、書類の保存場所の省スペース化はもちろん、企業イメージの向上にもつながったという。

大田社長は「システムを導入したことで信頼度が増した」と成果を実感している。「チェックシートシステム」は自前でアレンジしたシステムで、3クリック以内のシンプルな操作性にすることで従業員にも抵抗なく受け入れられた。大田社長は自社での導入実績をもとに、「チェックシートシステムを同業他社にも提案していきたい」と、外販も進めていく方針だ。

今後の戦略 製造現場の課題解決に向けて積極投資

「工作が好き」と語る大田社長。製造現場にあれば便利だなと思うものがあれば、とりあえず形にしてみる。日々のちょっとした業務の困りごとを解決するためのアイデアを常に頭の中で巡らせている。チェックシートシステムに関して大田社長は「将来的には完全なペーパーレス化を目指したい」とシステムの精度向上にも意欲的だ。IT分野に関しては得意ではないと言うが、若手従業員の知恵や意見を取り入れながら、協力して導入するまでに至ったという。

アイデアマンの大田社長は次の構想を温めており、製造ラインの抱える課題を解決するために、新たなシステムの導入に向けた準備を進めている。炊飯ジャーの保温機能や絶縁性などの品質検査に必要なラインを刷新し、年内にも導入する予定だ。炊飯ジャーの検査工程は時間もかかり、それに伴って設備も大型になる。省スペース化と手間の簡略化を目指し業務効率の改善につなげたい考えだ。大田社長は「未来に打って出るための投資を惜しまない」とし、アイデアの具現化や次世代を担う若手の育成に尽力していく。

株式会社 大陽工業所

代表取締役社長　大田 隆弘

〒571-0031　大阪府門真市古川町12−9

TEL. 06−6906−5529

FAX. 06−6909−2678

資本金／10,000千円

従業員／78名

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　海外対応　試作OK　連携力

品質管理システムのIT化で競争力と生産効率を向上

代表取締役社長 大田 隆弘

タイガー魔法瓶（株）の協力工場として炊飯ジャーを製造しています。製造現場で、手作業で行っていた品質管理のための記録作業工程をIT化し、生産効率の向上と競争力強化に努めています。

http://seizou-staff.com/

取材を終えて

独自のアイデアでお困りごとを解決

働きやすい環境にするためにはどうすれば良いか。大田社長は従業員の目線に立ち、課題の解決に向けて行動を起こす。「新しいシステムや機械の導入には、私なんかよりも若い人の発想の方が十分力になる」と、若手従業員の意見を柔軟に取り入れる姿勢が会社の成長と業務効率改善につながっている。人材育成にも力を入れ、門真・守口地域の産業に広く貢献してほしい。